

第3回我孫子市まち・ひと・しごと創生有識者会議 議事要旨

(1)会議名称	第3回我孫子市まち・ひと・しごと創生有識者会議							
(2)開催日時	平成27年9月9日 9:30～12:00							
(3)開催場所	名戸ヶ谷あびこ病院7階小会議室							
(4)出席者	委員							
	出	山内 智	出	熊田 雅弘	出	大炊三枝子	出	川口 伸一
	出	林 健一	出	門脇伊知郎	出	永嶋久美子	出	山岸 由紀子
	出	坂巻 弘一	出	布施 高広				
	事務局							
大畑企画課課長 木下企画課主幹 佐野企画課主査長 小嶋企画課主任								
(5)議題	1. 我孫子市人口ビジョン（案）について 2. 我孫子市総合戦略骨子（案）について 3. 今後のスケジュールについて							
(6)公開・非公開	公開							
(7)傍聴人	1人							

(8)会議の内容

1 我孫子市人口ビジョン（案）について

事務局より、人口ビジョン（案）について説明があった。

① 人口減少が地域社会に及ぼす影響について

意見等

- 意見、質問特になし。

② 人口減少の将来展望に係る基礎的な調査のまとめ

意見等

- 意見、質問特になし。

③ 人口減少克服に向けた課題

意見等

- P39（2）について、「若いうちに安心して妊娠・出産できる環境を整える」ではなく、「希望する年代で安心して妊娠・出産できる環境を整える」としてはどうか。（山岸委員）
⇒ご意見を踏まえ文言を修正する。（小嶋主任）

④ 目指すべき将来の方向について

意見等
■ 意見、質問特になし。

⑤ 人口の将来展望について

意見等
■ 人口の将来展望について、国や県は、将来人口を目標ではなくあくまで推計の結果として示す方針だが、我孫子市ではどのような位置づけになるのか。(布施委員) ⇒我孫子市では推計結果を踏まえた目標として位置づけている。(小嶋主任)
■ 推計値とするか目標値とするかは、今後、県のビジョンと整合を図りながら検討すればよいと考える。(林委員長)

2 我孫子市総合戦略骨子（案）について

事務局より、総合戦略骨子（案）、委員提案、委員提案と骨子（案）の関連について説明があった。また、各委員から委員提案に関する補足の説明があった。

① 委員提案事業及び新たな取組の効果・実現性について

意見等
■ Uターンならぬ孫ターンを図って互いのニーズを満たしてはどうか。(熊田委員)
■ リタイアした人が野菜を作りながら我孫子の良さを発信する。また、SNSを活用し、PRで「いいね！」をアップさせるような発信を。(山内委員)
■ 我孫子市は印象が薄い。パートナーを見つけてインパクトのある観光の拠点づくりをアレンジしてはどうか。(川口委員)
■ 我孫子の知名度アップにはたくさんの人の目に触れることが必要。食育などの良い施策をやっても表面に見えてこない。(永嶋委員)
■ PRは具体的な数値を示すことでアピール度が増す。(布施委員)
■ 我孫子には手賀沼という水辺があるが、その水辺に人が集まっていない。人が滞在でき、時間をつぶせるようなカフェや飲食店が不足している。水辺から住宅が密集しているところは少ないので、それを活かしていればよいのではないか。あとはストーリーを持たせることが必要。何も用事がなくても手賀沼を訪れる仕掛けが必要。(門脇委員)

② 目標・基本的方向・施策・主な取り組みについて

意見等
■ 6次産業化について、産学連携を取り組んでいるので追記していただきたい。なお、まちづくりだけではなく「食」についても大学と連携しているので目標2に追加できないか。(大炊委員) ⇒総合戦略については、交付金を申請する際に細かい記載ができないため、目標2の中の「地域活性化の取り組み」という括りをさせていただいている。(木下主幹)
■ 高齢者も対象としている点が抜けているため、基本目標4に「高齢者が住みやすい」や

「高齢者にやさしい」という表現が必要と感じる。基本的方向や施策に追記してはどうか。(布施委員)

⇒基本目標4は高齢者に特化するのではなく全世代を想定しているが、説明文等で高齢者の視点が伝わるように工夫する。(木下主幹)

- 農地転用の規制緩和や、市街化調整区域の規制緩和については、どこで位置づけているのか。(熊田副委員長)

⇒新たな企業立地の支援の中で読み込んでいる。(大畑次長)

- 基本目標3のうち、「妊娠・出産を促す」という表現は修正した方がよい。(山岸委員)

⇒表現は工夫してほしい。(林委員長)

⇒価値観に関わる内容なので、慎重に検討してほしい。(布施委員)

- 4つの基本目標の順番に決まりや意図はあるのか。(林委員長)

⇒国や県の方針を踏襲して4本柱としているが、基本目標の中で我孫子市としてどの目標に力を入れていくのか取り組みの強弱をつけることはあろうかと思う。(木下主幹)

- 「経営体制強化による農業の振興」とあるが、表現として一般的か。(林委員長)

⇒実家の農業を手伝うために会社を休む社員がいるが、実家を継ぐことは想定していないようである。新規就業者への支援も必要だが、農業を継続していく人への支援も検討が必要と感じる。(熊田副委員長)

⇒国の方針は、農地の集約化により収入をあげて、後継者を育成していくことを想定している。農業従事者は減少していくが、6次産業化などにより各農家が効率的に収入を得られるようにしていく方向にある。「経営体制強化による」という表現としてはやや大袈裟かもしれない。(大畑委員)

- 基本目標2について、記載されている取り組みには、住宅都市としての魅力向上が記述されていない。また、理想の姿として「他市との差別化」とあるが、大学連携はどこでもやっていることであることから一般的であり、地域活性化の取り組みの中身が見えない。観光資源を活かした地域産業の活性化については、イベントを記載したいのか観光資源を記載したいのか不明。観光資源を記載するのであれば、歴史・文化も追記すべきではないか。(門脇委員)

⇒暮らしたい人が魅力的な項目になるように修正する。手賀沼文化拠点については視点が不足していたので精査する。また、他市との差別化についても精査する。(木下主幹)

- 妊娠・出産の支援について、不妊治療費の助成が冒頭にくるのは不自然。また、母子保健・予防接種の充実もフッ素洗口事業も冒頭にくるのは不自然。また、「母子保健・予防接種の充実」と「安心して子育てできるための環境づくり」は順番が逆ではないか。(山岸委員)

⇒記載の順番を含め精査する。(木下主幹)

- 婚活支援事業の拡大・充実とはどういう意味か。婚活支援で結婚した人が我孫子に定住するとは限らないが、どのように評価するのか。(山岸委員)

⇒婚活事業は多くの自治体で取り組まれているが、成婚しても夫の居住地へ移転するケースも多いため、定住化しないことも課題としてある。しかし、それは割り切って、

継続していくことが必要と考える。(門脇委員)

⇒婚活事業については広域で連携して取り組むことも検討したい。(木下主幹)

- 我孫子市ふるさと産品とあるが、どのようなものをイメージしているのか。既存のものだけではなく、新しい商品を開発することを重視した方がよい(我孫子発など)。(山内委員)

⇒庁内策定会議で検討する。(木下主幹)

3 今後のスケジュールについて

事務局より、今後のスケジュールについて説明があった。

意見等

- 意見、質問特になし。

4 その他

事務局より、地方創生セミナー資料について説明があった。

意見等

- 意見、質問特になし。